

鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

【令和5年度予算概算決定額 9,713（10,139）百万円】
（令和4年度補正予算額 3,700百万円）

<対策のポイント>

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与える鳥獣被害の防止のため、**鳥獣の捕獲等の強化**や**ジビエ利用拡大への取組**等を支援します。また、森林におけるシカ被害の効果的な抑制のため、**林業関係者のシカ捕獲効率を向上させるための技術導入**や**国有林野におけるシカ捕獲等**を実施します。

<政策目標>

- 農作物被害を及ぼすシカ、イノシシの生息頭数を平成23年度から半減（約207万頭〔令和5年度まで〕）
- 野生鳥獣のジビエ利用量を令和元年度から倍増（4,000t〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

1. 鳥獣被害防止総合対策交付金

9,603(10,003)百万円

① 鳥獣被害防止総合支援事業

市町村が作成する「被害防止計画」に基づく**地域ぐるみの取組**や**施設整備**（侵入防止柵、捕獲技術高度化施設、処理加工施設等）を総合的に支援します。

ア 被害対策に係るICT活用の定着に向けた取組の支援

イ 鳥類に対する総合的な対策の支援

ウ 既設柵の地際補強資材の支援〔令和4年度補正予算含む〕等

② 鳥獣被害防止都道府県活動支援事業、都道府県広域捕獲活動支援事業

都道府県が主導して行う鳥獣被害防止対策や**広域捕獲**に係る取組を支援します。

ア 豚熱発生県でのジビエ利用再開のための体制整備等の支援 等

③ 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業

被害を及ぼす野生鳥獣の捕獲活動経費を支援します。

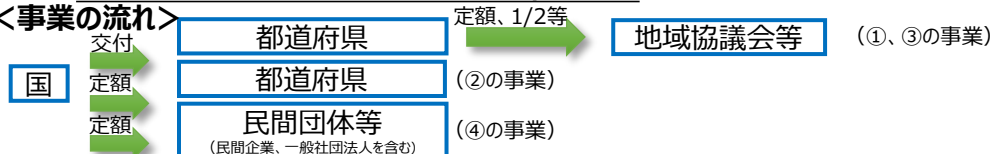
④ 鳥獣被害対策基盤支援事業、全国ジビエプロモーション事業等

被害対策推進のための人材育成やジビエ消費拡大を図るプロモーション等を行います。

ア 広域搬入体制の全国展開に向けたモデル整備の取組を支援〔令和4年度補正予算〕

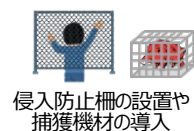
イ ジビエを扱う飲食店の拡大に向けた取組を支援〔令和4年度補正予算〕

<事業の流れ>



<事業イメージ>

〔総合的な鳥獣対策・ジビエ利用拡大への支援〕



侵入防止柵の設置や捕獲機材の導入



刈り払い等による生息環境管理



捕獲活動経費の支援



処理加工施設等の整備



処理加工施設等における人材育成

〔捕獲等の強化〕

① ICT活用の定着に向けた取組の推進

データを活用した被害対策や、ICTを活用できる人材の育成等を支援



被害等の可視化、対策への活用

② 鳥類に対する総合的な対策の実施

地域ぐるみで行う計画的な鳥類の追払い等を支援



鳥類の食害を受けたキャベツ

〔ジビエ利用拡大に向けた取組〕

① 広域搬入体制の全国展開〔令和4年度補正予算〕

各地域の地形等に合わせた処理加工施設への広域搬入方法の実証、全国展開



② 豚熱発生県における支援

「豚熱感染確認区域におけるジビエ利用の手引き」に基づく検査体制の整備等を支援



③ ジビエを扱う飲食店等の拡大〔令和4年度補正予算〕

消費者へのPR、ジビエ料理に関する指導、処理加工施設と飲食店の商談会等を実施



〔鳥獣被害対策推進枠〕

- ・多面的機能支払交付金のうち、多面的機能の増進を図る活動等の一部
- ・中山間地域等直接支払交付金のうち、生産性向上加算、集落機能強化加算等の一部
- ・農山漁村振興交付金のうち、最適土地利用総合対策、山村活性化対策、中山間地農業推進対策の一部

2. シカ等による森林被害緊急対策事業

109(136)百万円

森林におけるシカ被害を効果的に抑制するため、林業関係者のシカ捕獲効率の向上、広域的な捕獲の取組、新技術の開発・実証への支援とともに、国有林野における国土保全のためのシカ捕獲等を実施します。

<事業の流れ> ※国有林においては、直轄で実施

〔お問い合わせ先〕

(1の事業) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 (03-3591-4958)

(2の事業) 林野庁研究指導課森林保護対策室 (03-3502-1063)

国 → 都道府県等 → 民間団体等

〔捕獲効率の向上〕



狩猟熟練者の技能、新技術の活用

〔広域捕獲への支援〕



被害をもたらす群の駆除

〔国土保全のための捕獲〕



奥地天然林や複数の都府県にまたがる地域で捕獲